

それでは「家庭の役割」とは??

地域の子育て応援隊は、それぞれが役割を持って皆さんを支えています。
しかし、どんなに優れた応援隊であっても「家庭の役割」を果たすことはできません。
家庭は、毎日の生活を営むもっとも基本的な場所であり、また、子どもが将来自立して生きていくための力を養っていく安全基地の役割もあるのです。
皆さんが子育てをする中で、家庭の役割を大切にしていきましょう。

【家庭の役割】

- ①子どものからだところの健康を守る
- ②子どもの食事・睡眠・運動・清潔などの規則的な生活習慣を整える
- ③子どもにとって安心できる場をつくる
- ④子どもの人間関係の基礎、コミュニケーションやマナーなどの社会性の基礎をつくる



～「子育て応援隊」や「地域のつながり」を上手く活用しましょう!～



次号では、「認定こども園木下園長」「子ども発達支援センター長谷川センター長」へのインタビューと、これまでに紹介できなかった、町内の子育てサポート隊の方々をご紹介します。どうぞ楽しみに！



Q 子どものイヤイヤがひどい。 私の子育ては間違っているの?

A 子どもが言うことを聞かない「魔の2歳児」。これは、子どもの自我の芽生えで、健全に成長している証なので心配はいりません。この時期の子育てに大切なことは、まず、子どもの行動を受け入れることで、そのために、親がゆとりを持つことが重要です。

具体的には、子どもが他の子のおもちゃを取ったとき、すぐに「ダメ、返しなさい」と取り上げるのではなく「〇〇は、これを使いたいんだね。かっこいいよね。でも、今は△△ちゃんが遊んでいるから返そうね」と、最初に子どもの行動を受け入れ、その次に親の考えを伝えるようにしてください。親にゆとりがないと、子どもの言動にすぐに「カッ」となり、思わず手を上げてしまうことにもなってしまいます。

そして、心にゆとりがでてくると、自分の子育てを振り返って後悔して落ちこんだり、自分を責めることもあると思います。でも、世の中に「完璧な親」などいません。最善を尽くしたつもりでも、後に間違いだったことに気づくものです。そんな時は、悶々と考えず素直に子どもに謝ってみてください。

もし、心のゆとりが足りていないと感じる時は、身近な人と会話を楽しんだり、子育て支援センターなどを活用してください。



子育て支援センター
田中先生
☎ 0146・47・4525

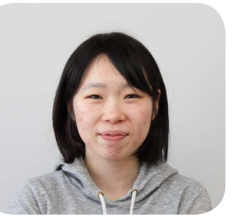
Q 同じ月齢の子と比べて、 言葉の発達が遅い気がする。

A 当センターを利用される方にも、同じ悩みを抱える方が多くいます。通常、1歳頃から単語を話し始めると言われますが、性別や兄弟の有無、家庭環境などによっても違いがあるなど、言葉の発達には個人差があります。言葉の発達は、人との関わりや遊びの中で様々な刺激を受けることが関係していると言われております。例えば、自分で身体を動かし色々なものを見て感じることで、ものに興味を持ちそれに名前があることを理解したり、自分の言葉に対して、周りの人が共感することに喜びを感じ、コミュニケーションをとることの楽しさに気づきます。また、ご飯を食べたり、シャボン玉をするなど口をたくさん使うことで言葉話すために必要な口の周りの筋肉が発達し、舌の使い方などを覚えていくと言われています。

この様に、言葉の発達には色々な要素が複雑に絡み合っていますが、何らかの原因で発達が遅れてしまうことがあります。当センターには、経験豊富なスタッフがおりますので、少しでも言葉や発達に不安がある方は、まずは、電話でご相談ください。

この様に、言葉の発達には色々な要素が複雑に絡み合っていますが、何らかの原因で発達が遅れてしまうことがあります。当センターには、経験豊富なスタッフがおりますので、少しでも言葉や発達に不安がある方は、まずは、電話でご相談ください。

当センターには、経験豊富なスタッフがおりますので、少しでも言葉や発達に不安がある方は、まずは、電話でご相談ください。



子ども発達支援センター
安藤言語聴覚士
☎ 0146・47・1522



Q インフルエンザ検査を受けるのは、 いつのタイミングがよいですか?

A インフルエンザかな?と思った時、医療機関を受診するタイミングで迷ったことはありませんか?

インフルエンザ検査は、通常、高熱が出てから12時間以上経過しないと正しい診断ができないと言われておりますが、国保診療所で導入している検査キットは、12時間経過していなくても、高い確率で陽性かどうかを診断することができます。



新冠町立国保診療所
医療相談室 富永室長
☎ 0146・47・2411

早くに診断することで、発症後48時間以内の投与が効果的だとされるインフルエンザの薬を服用することができ、症状の悪化を防ぐことができます。インフルエンザが疑われる時は、お子さんの体調をみながら早めの受診をお勧めします。

また、広報紙でもご案内していますが、国保診療所では、昨年10月より乳幼児期に必要なワクチンを全種類接種することができるようになりました。また、診療所には医療相談室が設置されており、病気やけが・医療機関の紹介など医療に関する相談全般に応じておりますので、お気軽にご相談ください。

